



会期 平成30(2018)年

10月8日(月・祝)～12月16日(日)

会期中無休

開館時間 9:00～17:00

※金曜日は19:00まで、入場は閉館の30分前まで

※10月8日(月・祝)は10:00開場

料金 一般 1,500円 (1,300円)

高・大学生 1,000円 (800円)

小・中学生 600円 (400円)

※()内は前売り・20名以上の団体料金

まもなく開幕！

開会式情報、主要作品解説、
特別メニューなど追加しました。



- JR広島駅より約1km ●広島城より約400m
- 市内電車(「八丁堀」で乗り換え)白島線で「縮景園前」下車20m
- ひろしまめいぷる～ぶ(市内循環バス、JR広島駅新幹線口のりば発着)「県立美術館前」下車(白島線沿い)



広島県立美術館

Hiroshima Prefectural Art Museum

press release

ブリューゲル展 BRUEGHEL 150 Years of an Artistic Dynasty

【開会式情報】

次の通り、「ブリューゲル展 画家一族 150年の系譜」の開会式を行います。

報道各位におかれましては、取材・広報にご協力いただきますようお願いいたします。

日時：平成30年10月8日(月・祝) 午前9時30分～

場所：広島県立美術館 3階企画展示室入口 ロビー

内容：主催者紹介・挨拶、来賓紹介、テープカット、内覧

【開催趣旨】

ピーテル・ブリューゲル1世(1525/30～1569)は、聖書の世界や農民の生活などを描いた作品で知られる16世紀フランドル*を代表する画家です。その類まれなる才能は子孫にも受け継がれ、4世代およそ150年にわたって、優れた画家を輩出し続けました。

本展は、貴重なプライベート・コレクションを中心に、選び抜かれた約100点を通じて、ブリューゲル一族の画業をご紹介します。一族や同時代のフランドルの画家たちが手がけた風景画、風俗画、花の静物画など、そのほとんどが日本初公開となる作品により、16、17世紀のヨーロッパ絵画史を彩った、画家一族の芸術の多彩な魅力に迫ります。 *フランドル:現在のベルギーにあたる地域

【展覧会の構成】

第1章 宗教と道徳

キリストが人類に審判を下す「最後の審判」を描いた版画作品です。画面の中央には、虹の上にキリストが座り、左右には慈悲と厳格さを象徴する百合と剣が配されています。向かって左には救われる者たちが天国へ向かう一方、右手には、地獄へ落ちる者たちが巨大な怪物の口で示された地獄の口へと送られています。前景に描かれているのは、多種多様な怪物たち。ヒエロニムス・ボス風の異形の姿で、特異な存在感を放ちます。ピーテル1世はボス風の作品で人気を博し、「第二のボス」とも呼ばれました。



ピーテル・ブリューゲル1世(下絵)、
ピーテル・ファン・デル・ヘイデン(彫版)
《最後の審判》
1558年 Private Collection

第2章 自然へのまなざし

ピーテル1世の次男、ヤン1世は、父と同様、自然への関心に根ざした優れた風景画を描きました。この作品では、木立に覆われたほの暗い水辺で、人々が思い思いに水遊びに興じています。付近には、橋を渡る人や鶏に餌をやる女性など、日常生活が細やかに描かれる一方、川に行く手には、はるか遠くに尖塔や家々が並ぶ都市風景が広がります。変化に富んだ眺めを持つ川の風景は、細部まで繊細緻密に描かれ、17cm×22cmという小画面とは思えないほど広がりのある世界を内包しています。



ヤン・ブリューゲル1世
《水浴をする人たちのいる川の風景》
1595-1600年頃 Private Collection, Switzerland

press release

ブリューゲル展 BRUEGHEL 150 Years of an Artistic Dynasty

第3章 冬の風景と城砦

「鳥罨」は、ブリューゲル一族が創始し、世に広めた画題です。この作品は、ピーテル1世の長男、ピーテル2世が手がけたもの。画面右下、木の間に見えるのが鳥罨で、大きな板と支えの棒から成っています。棒には紐がとりつけられて近くの家の窓まで伸び、家の中から紐を引くと板が倒れるという仕組み。餌を求めて集まる鳥たちの身には危険が迫りますが、雪曇りの空の下、柔らかな光が村を包み込む冬の情景には、厳冬の農村の豊かな詩情が感じられます。



ピーテル・ブリューゲル2世
《鳥罨》

1601年 Private Collection, Luxembourg

第4章 旅の風景と物語

ピーテル1世が下絵素描を描いた、船を主題とする版画連作の1点です。ピーテル1世が活躍した時代のアントワープは、貿易や大航海の要衝をなす国際的な商業都市でした。その繁栄を担った海運業に因む「船」という主題は、いわば都市発展の象徴。この作品では、水平線を高く取り、広大な海原を進む帆船を力強く描いています。画面右上には、船の勇壮さとは対照的に、ギリシャ神話の「イカロスの墜落」の一場面が小さく添えられていますが、これはピーテル1世によるものではなく、版元のヒエロニムス・コックの指示で付け足されたと思われています。



ピーテル・ブリューゲル1世(下絵)、
フランス・ハイス(彫版)
《イカロスの墜落の情景を伴う3本マストの武装帆船》
1561-1562年頃 Private Collection

第5章 寓意と神話

ノアの箱舟は、旧約聖書の創世記に登場する物語。神のお告げを受け、大洪水に備えて箱舟を作ったノアは、自らの家族とともに、あらゆる生きもののつがいをそこに乗せます。この作品では、箱舟は、画面左の裸木の後方にごく小さく描かれ、主役を務めるのは動物たちです。地上や水辺、樹上にまでも所狭しと動物たちが集う賑やかな画面は、異国性をも感じさせ、多種多様な動物の生態を伝える色鮮やかな動物図鑑のようです。



ヤン・ブリューゲル1世
《ノアの箱舟への乗船》

1615年頃 Anhaltische Gemäldegalerie Dessau

第6章 静物画の隆盛

咲き乱れる花瓶の花々。暗い背景は、個々の花の存在を浮き上がらせ、豊かな色彩をひととき鮮やかに演出します。この作品は、華麗な花の絵で人気を博したヤン1世と、彼の工房で修業していた息子のヤン2世による共作で、多彩な色彩表現と緻密な描写が見どころです。花びらの複雑な重なりやガラスの透明感と硬質な質感、命ある虫たちの一瞬を捉えた表現など、細部にわたる丹念な描写の積み重ねにより、画面には静寂とともに一種濃密な気配が漂い、重厚感のある作品に仕上がっています。



ヤン・ブリューゲル1世、ヤン・ブリューゲル2世
《机上の花瓶に入ったチューリップと薔薇》
1615-1620年頃 Private Collection

第7章 農民の踊り

婚礼の主役である花嫁は、後方のテーブルにつつましく座る一方、前景では農民の男女が楽しげにダンスに興じています。ピーテル1世の死後、二人の息子はその模倣作を描いて、父の作風を世に広めるのに貢献しました。彼らも繰り返し描いたこの作品の主題は、当時のフランドル絵画の中でもっとも人気のあった画題の一つといわれます。この作品では、高い視点から捉えることで、村を挙げての賑やかな祝祭の情景を、農民たちの表情も豊かに生き生きと描き出しています。



ピーテル・ブリューゲル2世
《野外での婚礼の踊り》
1610年頃 Private Collection

【媒体掲載用の画像提供について】

- ※いかなる場合も本プレスリリースからの転用はご遠慮ください。
- ※都合により出品作品が異なる場合がございます。ご了承ください。
- ※画像については提供が可能です。ご掲載の際に画像がご入り用の場合は、当館までお問い合わせください。
- ※画像掲載の際には、画像とテキストが掲載されたレイアウト原稿を事前に当館までご提出いただき、1週間程度お時間を頂戴いたします。

press release

【関連イベント】

講演会1

ブリューゲル一族の華麗なる系譜 農民のブリューゲルから花のブリューゲルへ

日時:10月8日(月・祝) 14:30~16:00[開場14:00]

講師:千足伸行(当館館長、成城大学名誉教授)

場所:地階講堂(先着200名) ※事前申込不要 ※聴講無料

講演会2 (共催:広島県立美術館友の会)

ブリューゲル一族の系譜と作品制作をめぐる状況

日時:10月20日(土) 13:30~15:00[開場13:00]

講師:高城靖之(東京都美術館学芸員)

場所:地階講堂(先着200名) ※事前申込不要 ※聴講無料

学芸員によるギャラリートーク

日時:10月12日、10月26日、11月9日(金) 各日11:00~

11月23日、12月7日(金) 各日17:00~

※入館券をお求めの上、会場入口付近にお集まりください。

ウェブレポーター大募集

日時:10月12日(金) 17:00~18:30

場所:3階ロビー

対象:インターネットを通して本展PRにご協力いただける一般の方

※事前申込不要。実施当日に限って本展にご招待します。

ロビーコンサート

①16世紀フランドルの音楽

(ヴィオラ・ダ・ガンバ、リュート、打楽器など)

日時:10月20日(土) 12:00~

演奏:ファナ古楽合奏団

②初期バロックの音楽~スウェーリンクからの潮流

日時:12月1日(土) 12:00~

演奏:中川詩歩(ソプラノ)、田尻健(テノール)、福原之織(チェンバロ)

①②会場:1階ロビー ※事前申込不要 ※鑑賞無料

写真撮影について

10月31日(水)までの期間限定で、一部作品の撮影が可能です。

※作品保護等のため、撮影時の注意事項をお守りください。

4世代ファミリー特別ご招待!

ブリューゲル一族にちなみ、4世代そろってご来館いただいた場合は、本展に無料でご招待します。

(11月中、限定150組) ※1階受付でお申し出ください。 ※写真を撮影させていただく場合があります。

press release

ブリュージュ展 BRUEGHEL 150 Years of an Artistic Dynasty

【特別メニュー】

1階 Zona ITALIA in Centro(ゾーナ イタリア イン・チェントロ)では、ブリュージュ展の特別メニューを2点ご用意しました。「ネーデルランド風クロケット」のクロケット(コロケ)とは、ポテトやひき肉、魚介類を使った揚げ物料理。オランダでは自動販売機での販売があるほどクロケットはメジャーな料理です。ネーデルランド付近では乳製品を使った料理が多く、今回のこのクロケットにはポテト、玉ねぎ、ベーコンに加えてゴータチーズを使いました。単品のみのご提供となります。もう一品の「フランドル地方のプリンに見たてカタラーナ」は各セットのデザートとしてご利用いただけます。ピーテルにより描かれている「農民の結婚式」にはオランダ語でブライと呼ばれる料理が描かれています。ブライとは麦粥、またはプリンとの説があり今回はプリンに見たてカタラーナ風に表面はパリッと中はしっとりとクリーミーに仕上げられています。ブリュージュ展で描かれている、当時の生き生きとした日常生活の世界を体感していただき、フランドル地方の料理とともにご堪能ください。



(左)ネーデルランド風クロケット
(右)フランドル地方のプリンに見たてカタラーナ



ブリュッセルワッフル

3階 ティールーム 徒夢創家(トムソーヤ)では、ブリュージュが活躍したフランドル地方のスイーツ「ブリュッセルワッフル」が登場！表面はサクッと中はしっとりと、甘さひかえめなのでバニラアイスとの相性はバッチリです。チョコレートとカラメルの2種類のソースからお選びいただけます。店頭で味わえるのは期間限定の12月末まで。ブリュージュ展ご観覧の後は、フランドル地方のスイーツを存分にお楽しみください。

【音声ガイド】

音声ナビゲーターは、声優・石田 彰に決定！

ブリュージュ一族、150年の歴史と名画の秘密に迫る物語。絵画の世界へ迷い込む、不思議な旅へと誘います。



石田 彰

【託児サービス(有料)】

11月10日(土) 10:00~16:00 受付:3階ロビー

※要予約。詳しくは当館HPをご覧ください。

【縮景園連携】

ワンコイン縮景園 本展入館券のご提示により、100円で縮景園にご入園いただけます。

press release

ブリューゲル展

BRUEGHEL 150 Years of an Artistic Dynasty

【県美×現美×ひろ美 相互割引】

「ブリューゲル展 画家一族 150年の系譜」の会期中、3館で相互割引を実施！下記いずれかの特別展チケット（半券可）を受付にご提示いただくと、本展当日料金より100円割引。詳しくは各館にお問い合わせください。※1枚につき1名様限り、他の割引との併用はできません。

広島市現代美術館（南区比治山公園1-1／TEL 082-264-1121）

丸木位里・俊 — 《原爆の図》をよむ 2018年9月8日（土）～11月25日（日）

松江泰治展 2018年12月8日（土）～2019年2月24日（日）

ひろしま美術館（中区基町3-2[中央公園内]／TEL 082-223-2530）

ひろしま美術館開館40周年記念 ブリヂストン美術館展 2018年10月13日（土）～12月16日（日）

【開催概要】

メインタイトル：ブリューゲル展 画家一族 150年の系譜

英語名：Brueghel 150 Years of an Artistic Dynasty

料金：一般 1,500（1,300）円 高・大学生1,000（800）円 小・中学生600（400）円

※（ ）内は前売り・20名以上の団体料金

※学生券をご購入、ご入場の際は学生証のご提示をお願いします。

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び戦傷病者手帳の所持者と介助者

（1名まで）の当日料金は半額です。手帳をご提示ください。

前売券販売所：広島県立美術館、セブンイレブン（セブンチケット）、ローソン（Lコード 62239）、チケットぴあ（Pコード 769-176）、イープラス、広島市・呉市内の主なプレイガイド、画材店・画廊、ゆめタウン広島、などで販売しています。

開催クレジット

主催：広島県立美術館、広島テレビ、イズミテクノ

後援：中国放送、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、尾道エフエム放送、FMはつかいち76.1MHz、FM東広島89.7MHz

協賛：光村印刷

広島展協賛：大和証券、大田鋼管、広島県信用組合

協力：日本通運

企画協力：NTVヨーロッパ

特別協力：ARTHEMISIA

問い合わせ先：広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22 TEL.082-221-6246 FAX.082-223-1444

E-mail m-kaminishis4677@pref.hiroshima.lg.jp（上西宛）または、iroeuma2@gmail.com

担当：学芸課 藤崎 綾

広報担当：総務課 上西 真由美 一色 直香